

「さあ おさづけ」

プログラムのねらい

- おさづけに対する意識、考え方を見つめなおす
(※なぜ取り次がない、取り次いでもらわない)
- おさづけに対する意識、考え方を具体的に表現し、心を軽くする
- 日常生活で気軽におさづけを取り次ぐよう、取り次いでもらうよう呼びかける

プログラムの構成

			時間配分
《導入(起)》	《演習》	あなたのおさづけ度チェック	5分
	《ねりあい》	おさづけ、私の気持ち	20分
《気づき(承)》	《本読み》	「さあ おさづけ」	5分
	《ねりあい》	本読みふりかえり	5分
	《おはなし》	感想	10分
《学習(転)》	《本読み》	「さあ おさづけ」	5分
	《おはなし》	おさづけの不思議	20分
	《本読み》	「さあ おさづけ」	5分
	《実技》	おさづけ取り次ぎ方確認	30分
《結び(結)》	《ねりあい》	取り次ぎのふりかえり	5分
	《おはなし》	まとめ	20分
	《ねりあい》	講座のふりかえり	40分
			(2時間50分)

※開会、閉会、つなぎの司会時間を含まないプログラム正味の時間

各項目の時間は目安です。当日の流れ、実情に応じて調整してください

準備物品

- テキスト「さあ おさづけ」(布教二課にて受渡し)
- 記入用紙「おさづけチェックシート」(巻末に添付。コピーして使用)
- ふりかえり用紙(//)

プログラム進行表

単位	プログラム（内容と進め方）	司会のコメント（例）	ねらい（ポイント）
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者が受付を済ませて入場 ・着席案内（班分けの通りに） ・配布物案内 		トイレなどは貼り紙案内、お茶セット等があるとよい。
司会	<ul style="list-style-type: none"> ・講師、各班ねりあい司会者、サポートスタッフ紹介 ・開始時刻、終了時刻の予告 ・テキストは、案内があるまで開かない、読まないように促す。 <p>※参加者とスタッフで作らあげるので、ご協力をお願いします。</p>		
	<p>開会</p> <p>親神様、教祖、祖霊様遥拝</p> <p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日のテーマ、テキスト紹介 ・ねらい ・プログラムの概要（省略してもよい） 		
		おさづけの勉強の前に、みなさんのおさづけとのかかわり度合いを聞いてみたいと思います。	
班別	<p>〈演習〉</p> <p>あなたのおさづけ度チェック</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 記入用紙（別紙）を配ります ② 一人ずつ記入してもらいます ③ 記入ができたならグループ内で一人ずつ順番に発表してもらいます 	<p>これからちょっとしたアンケートをしてみます。みなさん気楽に正直に書いてみてください。</p> <p>みんなが書き終わったらグループで発表してください。</p> <p>A「私はおさづけを取り次いだことがあります」「か</p>	<p>おさづけチェックシート（別紙）</p> <p>☞自分がおさづけについて、どんな気持ちや姿勢なのかを確認、認識する</p> <p>☞おさづけに対する意識を具体化させる</p>

		<p>ぜをひいたぐらいには取り次ぎます」「私にとっておさづけは手当てです」</p> <p>B「私はおさづけを取り次いだことはありません」</p> <p>「戴きましたがどういうものかよくわからないからです」「私にとっておさづけは意味不明なものです」</p> <p>という具合に、簡単にいいですよ。</p>	
班別	<p>〈ねりあい〉</p> <p>おさづけ、私の気持ち</p> <p>① おさづけを取り次いだことのある人は、取り次ぐ理由や体験談、そのときの気持ちを、取り次いだことのない人は、取り次がない理由を話します</p> <p>② 取り次いだことのある人は、おさづけのすばらしさを、取り次いだことのない人は、疑問や気持ちを話します</p>	<p>おさづけについての考え方や気持ちは様々ですね。ではもう少しみなさんの気持ち、ホンネを話し合っていきましょう。</p> <p>おさづけを取り次いだことのある人は、なぜ取り次ぐのか、体験談、そのときの気持ちを、そしておさづけのすばらしさを話してください。取り次いだことのない人は、なぜ取り次がないのか、思っていることや疑問など気持ちを話してください。ありのままでもいいですよ。</p> <p>お互いに相手を否定したり説教したりするのではなく、お互いを理解しながら、相手にわかってもらいたいという気持ちで話してください。</p>	<p>👉おさづけに対しての具体的な意識を思いきり表現することで心を開き、軽くする</p> <p>👉意識（立場）の違う者どうして話し、お互いに理解し学べる</p>

		<p>ありがとうございました。 おさづけについて、取り次ぐ人、取り次がない人、様々な立場や体験の違いから率直なところを聞かせていただいたと思います。</p> <p>確かに、本当に様々な体験を経ると、時にはおさづけの効能を信じられなくなったり、わからなくなったりすることもあります。また、その逆もあります。</p> <p>ここで、テキストから子供たちがおさづけについて感じたことを読んでみましょう。</p>	
全体	<p>「さあ おさづけ」本読み P9-12 小学生の作文 講師に合わせて、全体で声をだして読みます</p>	<p>※グループ内で声を出して読んでもよい</p>	<p>👉おさづけについて (肯定的に)考える 序章にする</p>
班別	<p>〈ねりあい〉 作文を読んだ感想を話し合います</p>	<p>いかがでしたか。作文を読んだ感想をグループで自由に話してください。</p>	
		<p>みなさんはどんな感想を抱かれたでしょうか？ 子供たちの純粹さ、豊かな感性に驚かされます。</p> <p>子供たちが心に感じたおさづけの不思議。講師の先生はどんな感想を持たれたのでしょうか。 聞いてみましょう。</p>	

<p>全体</p>	<p>〈おはなし〉 講師の率直な感想を話します</p>	<p>○おさづけはやはり効能の理(効く) ○出直しもご守護(心のたすかりもおさづけの効能) ※断定的な話はせず、おさづけの効能やすばらしさを感じ取る示唆を与える程度に</p>	
		<p>いかがでしたか? どうやらおさづけは、単なるおまじないや気休めみたいなものではなく、親神様のご守護をいただくために大切なものようです。</p>	
<p>全体</p>	<p>「さあ おさづけ」本読み P39-43 おさづけ 私たちは何を… P45-46 おさづけ なるほど… 講師に合わせて、全体で声をだして読みます</p>	<p>みなさんが話題にしているおさづけ。おさづけとはどんなものなのでしょう。少し勉強してみましよう。 ○基本的には第3章を教材に ※ほかの章も参考にして理解が進むポイントをピックアップして読むのがよい</p>	<p>👉おさづけについて理解を深める</p>
		<p>おさづけとは親神様、教祖の思いが込められた人だすけの手立てなのですね。おさづけについて、もう少し詳しくお話を聞いてみましょう。</p>	

<p>全体</p>	<p>〈おはなし〉 ① おさづけについて簡単な補足説明 ② おさづけの不思議</p>	<p>○本読みで難しかったりわかりにくかったりしたところを簡単な言葉で簡潔明瞭に説明 ○自身の体験談を精一杯話す ○教祖を感じる、教祖がおはたらきくださることを伝える ○取り次ぎによって人もたすかり、自分自身もたすかる</p>	<p>☞おさづけの効能について強調し、おさづけに対する積極性を高める</p>
		<p>講師の先生の貴重な体験をお聞きしました。 さて、続いてちょっとテキストの第4章を読んでみてください。</p>	
<p>全体</p>	<p>「さあ おさづけ」本読み P80-82 第4章 神がはたらく 講師に合わせて、全体で声をだして読みます</p>		
<p>全体 少数 ペア</p>	<p>〈実技〉 おさづけ取り次ぎ方確認 ① 講師が説明をします。その説明に合わせて手を進めます ② グループ内で 2 人一組になります ③ ペアで確認しながら取り次ぎ合います</p>	<p>この不思議なおさづけ。できれば取り次いでいきたいものですね。今日はせっかくですから、取り次ぎ方を確認しておきましょう。 ※P67-78Q&A 方式で学ぶのもよい</p>	

		<p>ありがとうございました。 いかがでしたか？ 少しの時間ですが、みなさんでどんな気持ちでしたか かぶりかえってみてください。</p>	
班別	<p>〈ねりあい〉 おさづけを取り次いだ、取り次いで もらった感想を話します</p>	<p>今、取り次ぎ合いをしていただきましたが、取り次いだときどんな気分だったか、取り次いでもらったときどんな気分だったか、一言ずつで結構です。グループで発表しあってください。</p>	
		<p>久しぶりに取り次いだ人、初めて取り次いだ人、取り次いでもらった人、いろいろな人がいたと思います。また、ドキドキしたり、気持ちがよかったり、いろいろな感覚を持たれたことでしょう。 いずれにしても、人のために一生懸命に祈り、願うことや自分のために一生懸命に祈ってくださることに、悪く思う人はいないのではないかと思います。 私たちは人のために祈り願う方法、おさづけを取り次げる立場にあるのです。今日はおさづけについて勉強しました。最後に講師の先生からまとめのお話をさせていただきます。</p>	

<p>全体</p>	<p>〈まとめのおはなし〉</p>	<p>○教祖のおさづけに対する思い ○日常でもぜひ取り次いでみませんか ○なかなか取り次ぐ勇気のでない人は、せめて毎日人のために祈りませんか そこからはじめましょう ※説教にならないように、呼びかけるような思いで</p>	<p>☞おさづけを取り次ぐよう呼びかける</p>
<p>班別</p>	<p>〈ねりあい〉 講座のふりかえり ① 記入用紙（別紙）を配ります ② 一人ずつ記入してもらいます ③ 記入ができたならグループ内で一人ずつ順番に発表してもらいます ④ 自由に話してもらいます</p>	<p>今日の講座をふりかえって、今の気持ちを率直に書いてみてください。 みんなが書き終えたらグループで発表してください。 項目ごとに一回りずつ、順番に発表してください。 全部済んだら今日の感想や気持ちを自由に話してください。</p>	<p>ふりかえり用紙（別紙）</p>
<p>司会</p>	<p>閉会 親神様、教祖、祖霊様遥拝</p>	<p>○本日はご参加いただきましてありがとうございます。 （次回の参加案内があれば渡す） ○これで終わらせていただきます。</p>	

《おさづけチェックシート》

Q1. あなたはおさづけを取り次いだことがありますか？

1. はい、あります



Q どのくらいの症状からおさづけを取り次ぎますか？

※取り次ぐ段階に○印をつけてください

- 5、不治の病、命にかかわる大病
- 4、大けが、入院、治療の必要な大病
- 3、発熱、かぜ、ねんざ など
- 2、軽い頭痛、歯痛、筋肉痛、すり傷など
- 1、健康祈願、幸せを願って（ちょっと思いついたら）

2. いいえ、ありません



Q それはなぜですか？

※○印をつけてください。複数可

- 1. おさづけが何なのかよくわからない
- 2. 取り次ぎ方がよくわからない
- 3. 自分がしても効くとは思えない
- 4. おさづけなんて信じられない
- 5. その他

[]

Q2. あなたはおさづけを取り次いでもらったことがありますか？

1. はい、あります



Q どのくらいの症状からおさづけを取り次いでもらいますか？

※取り次いでもらう段階に○印をつけてください

- 5、不治の病、命にかかわる大病
- 4、大けが、入院、治療の必要な大病
- 3、発熱、かぜ、ねんざ など
- 2、軽い頭痛、歯痛、筋肉痛、すり傷など
- 1、健康祈願、幸せを願って（ちょっと思いついたら）

2. いいえ、ありません



Q それはなぜですか？

※○印をつけてください。複数可

- 1. 必要だと思えるような病気をしたことがない
- 2. 信仰心の鈍い私になんかもったいない
- 3. お礼やお供え、とても面倒
- 4. おさづけなんて信じていない
- 5. その他

[]

Q3. あなたにとって、おさづけとは…一言で



[]

《おさづけふいかえり用紙》

簡単に書いてみましょう！

1. 講座を受けて、今の気持ちはいかがですか？
2. おさづけについて、参考になることや気づいたことはありましたか？
それはどんなことですか？
3. おさづけについて、あなたのイメージや考え方で変化はありましたか？
それはどんなことですか？
4. おさづけについて、これからのあなたの小さな（ちょっとした）目標を聞かせてください